

まえがき

人と自然が共生し、快適でうるおいとやすらぎのあるまちづくりを推進していく上で、水辺の環境、特にそこに生息する生物の状況を把握することは極めて重要なことです。

本市では、生物をとおして川や海の水質や環境の現状を広く理解していただき、環境活動への取り組みについてより一層の推進をしていただくことを目的として、昭和48年からほぼ3年ごとに「水域の生物相調査」を実施し、水環境、魚類、底生生物、藻類、水草等の調査結果をとりまとめてきました。

本報告書は、平成17年度に実施した調査結果をまとめたもので、「横浜の川と海の生物」河川編の第11報になります。

また、平成17年は、環境保全局、下水道局、緑政局が一体となり、環境的な視点から施策を総合的に実施するために環境創造局としてスタートした年でもあります。新たな水環境の保全、創造に係わる取り組みの中で本報告書を広く活用していただければ幸いです。

平成19年3月

環境創造局長 橋本 繁

生物相調査項目と調査担当者

調査項目	調査担当者	所属
水質環境	福嶋 悟、樋口 文夫、水尾寛己 阿久津 卓	横浜市環境科学研究所 横浜市環境創造局環境活動推進部
魚類	樋口 文夫、水尾 寛己	横浜市環境科学研究所
底生動物*	金田 彰二	日本工学院専門学校環境科学科
エビ・カニ類	樋口 文夫、水尾 寛己、福嶋 悟	横浜市環境科学研究所
水辺の鳥類*	石井 隆	日本野鳥の会神奈川支部
水辺植生、水草*	村上 雄秀	財団法人国際生態学センター
付着藻類	福嶋 悟	横浜市環境科学研究所

注) *： 財団法人国際生態学センターの委託業務

目次

第一部 生物相調査概要

I 調査項目と方法

1 調査項目と調査	1
2 調査地点	1
3 調査方法	3

II 調査結果の概要

1 生物相	7
2 生物指標による水質評価	9
3 水環境目標の達成状況	23
4 貴重種（環境省および神奈川県レッドデータブック）	26
5 外来種	28
6 写真（調査地点風景）	30

第二部 生物相調査結果

III 各生物の調査結果

1 水質環境	41
2 魚類	51
3 底生動物	80
4 淡水エビ・カニ類	110
5 水辺の鳥類	117
6 源流域の水辺植生	149
7 水草	165
8 付着藻類	172

（表紙の写真：大岡川産のアユ、体長 103mm）